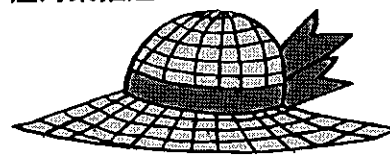


「アディクション・サマーセミナー」



薬物乱用・依存関連問題をどう理解すればいいのか、どのように支援すればいいのか、手がかりが得られないことも多く、支援者が無力感にとらわれてしまうことも珍しくありません。支援の手がかりを得ていただき、支援者自身のエンパワーメントの機会となることを願って、研修を開催します。どうぞご参加ください！

パートⅠ（第一回）入門編 <平成23年8月2日（火）> 13:30～16:00

依存症の理解 ～回復者から学ぶ～

講師：倉田 めば 氏（大阪ダルク：ピアドラッグカウンセラー）

諸隈 琢 氏（福岡県立精神医療センター太宰府病院：精神科医）

堀井 宏和 氏（NPO法人北九州DARC施設長）

「薬物依存の問題がある」あるいは「アルコール依存だ」など依存症に関する相談があったとき、どのように理解し、対処を考えたらいいのでしょうか。今回、「誰にも聞けなかったドラッグの話」(ASK編)の回答者として知られる依存症からの回復者の倉田めば氏、依存症臨床を実践されている諸隈琢氏、そして地元北九州DARCの回復者の堀井宏和氏に「ドラッグとは？」そして「依存症とは？」について語っていただきます。

パートⅡ（第二回）実践編 <平成23年8月9日（火）> 13:30～16:00

依存症からの回復へ向けて

～ワークブックを用いた統合的外来治療プログラム～

講師：松本 俊彦 氏

（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室長
・自殺予防総合対策センター副センター長：精神科医）

薬物依存症からの回復の第一歩は、まずクスリをやめることです。しかしやめ続けることはとても難しいことです。やめ続けるためには依存症の当事者にも支援者にも道標となるものがが必要です。アメリカでは認知行動療法の考え方も準用した「マトリックスモデル」という統合的外来治療プログラムがあります。この取り組みの一つである「SMARPP（スマーブ）」を開発した松本俊彦氏をお招きして、依存症からの回復へ向けた具体的なプログラムについて、わかりやすく紹介して頂きます。

また、北九州で取り組んだ「SHARP（シャープ）」の報告も行います。

対象：薬物乱用・依存者の相談、治療、処遇に関わっている方及び関心のある方
医療関係者、教育関係者、司法関係者、行政機関職員（児童思春期相談機関の職員、保健師、ケースワーカー）など 150名

参加費：無料

会場：北九州市総合保健福祉センター（アシスト）2F 講堂（小倉北区馬借1-7-1）

主催：北九州市立精神保健福祉センター

※駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。

北九州市立精神保健福祉センター 行

(FAX 093-522-8776)

平成23年度「アディクション・サマーセミナー」申込書

※ 参加申し込みは7月25日(月)までに、FAX・郵送にてご送付ください。

※ 定員を超えた場合のみご連絡させていただきます。

職 種	氏 名	参加を希望されるものに○を記入	
		第一回 8/2(火)	第二回 8/9(火)
連絡先 所属機関名			
TEL() -		FAX() -	

連絡先 北九州市立精神保健福祉センター

担当 中村・平井・小楠

〒802-8560 小倉北区馬借 1-7-1

アシスト 21 5F

TEL093-522-8729 FAX093-522-8776